

【記念式典（公式セレモニー）】 マクシミリアン・アイヒシュテッター第1市長 あいさつ

【要約：通訳内容に基づく】

皆様、沼田市、そして私たちの故郷フュッセンからご来場の皆様、星野稔沼田市長、両市議会議員の皆様、在ミュンヘン総領事様、シュヴェッケ様、観光局長様、フュッセン元市長ヴェンゲルト博士、パレストリーナからお越しの友人の皆様、各協会団体の皆様、そして報道関係者の皆様、本日私たちは、ここで特別な記念日を祝うために集まりました。

フュッセン市と沼田市の姉妹都市提携30周年記念、この30年の間に締結された1つの協定から出会い、心温まる、そして相互の信頼に満ちた友情が育まれてきました。1995年に、このパートナーシップが結ばれた当時、そこからどれほどの力強さと持続性が生まれるか誰も予想できませんでした。

勇敢な市長、献身な市議会議員たち、そして多くの市民が、その当時の第一歩を踏み出したのです。そこから発展したのは、単なる公式な交流以上のものでした。大陸を超えた架け橋が築かれたのです。数多くの出会い、学生間の交流、団体訪問、そして個人的な体験が文化教育地域社会を通じて、私たちをますます近づけてきました。今日私たちは、誇りを持ってこう言うことができます。この姉妹都市交流は、世代を超えて人々を結びつける強い絆です。この喜びの中で、私たちはまたこの道を共に歩いていき、もはやここにはいらっしやらない方々を思い起こしたいと思います。

本日は故 西田元沼田市長、そして姉妹都市の礎を築かれた今は亡きすべての方々を追悼いたします。私たちは彼らに敬意を持って記憶にとどめます。彼らの献身と功績を忘れることはできません。彼らは、私たちが今日祝う歴史の一部です。彼らに1分間の黙祷を捧げます。（黙祷）

親愛なるゲストの皆様、姉妹都市交流は当然のものではありません。そこには、継続的な努力、出会い、そしてその関係に命を吹き込む人々が必要です。ここに私たちは力強いメッセージを送ります。友情は突風よりも強いのです。友情は信頼を生み、架け橋を築き、そして希望を与えます。この30年は基礎で基盤であり、同時に約束でもあります。将来の世代が、またこの友情の温かさ、開放性そして可能性を体験できるという約束です。星野市長、そして代表団の皆様、フュッセン市を代表して心より感謝を申し上げます。沼田でのご厚意により、素晴らしい瞬間、美しい体験をいただき、私たちの協力関係はさらに強化されました。この式典を可能にくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。また、この記念式典を盛り上げる演奏や踊りを披露してくださったハーモニーフュッセンの音楽団や、民族衣装協会の皆様、そして特に民族衣装を着た子どもたちにも感謝いたします。さらにこの式典を成功させるために、舞台裏で支えてくださった管理人や全てのスタッフの方々に感謝申し上げます。特に長年にわたり、この提携関係に尽力してくださったヴィルヘルム・シュヴェッケ氏に深い敬意を表します。また、姉妹都市提携の設立に大きく寄与されたパウル・ヴェンゲルト博士にも感謝申し上げます。これらの方々の尽力なしには、今日のこの場はありませんでした。

皆様、今日は感謝の気持ちをこめて過去を振り返り、喜びをもって祝福し、自信を持って未来を見せましょう。